

## 論文内容の要約

### 非伝統的居住地域における朝鮮族コミュニティの研究 ——社会的・経済的資源の相互依存の視点から

ナン ギョクケイ  
南 玉瓊

#### 【全体要旨】

本稿は、非伝統的居住地域における朝鮮族コミュニティの形成・維持のメカニズムを明らかにすることを目的としている。そのため、伝統的居住地域としてハルビン市を、非伝統的居住地域として深圳市、青島市、燕郊鎮を調査地域に選定し、朝鮮族コミュニティ内部の原因、中国の地域による民族政策的影響、韓国はじめ外国からの影響という三つの方面からコミュニティの形成・維持のメカニズムを究明している。

研究方法としては、エスニック・コミュニティ論における原初性論と道具論を組み合わせたうえで、エスノ・シンボリズム論的な視角も取り入れた。また、レイモンド・ブレトンの提起した、エスニック・コミュニティを見るうえでの団体の重要性という視点を受け継いでいる。さらに、本稿ではソーシャル・キャピタルを補充・強化する資源という視点をも取り入れた。そこから、国内外の社会的資源と経済的資源が相互依存するという視点を提起し、かつ、四地域の朝鮮族コミュニティを比較するマルチサイティッド・エスノグラフィーの手法を用いた。

論証過程としては、まず、中国の民族政策及びそれが中国朝鮮族コミュニティに及ぼす影響を考察し、伝統的居住地域と非伝統的居住地域の社会状況を確認した。次に、伝統的居住地域と非伝統的居住地域の朝鮮族コミュニティの形成・維持プロセスをハルビン市、深圳市、青島市、燕郊鎮を例に、それぞれ考察して、最後に各地の特徴を浮き彫りにしている。

その結果、以下のことが明らかになった。第一に、非伝統的居住地域における朝鮮族コミュニティは、社会的団体の生み出す社会的資源と経済的団体の生み出す経済的資源の相互作用の結果である。第二に、非伝統的居住地域における朝鮮族コミュニティは地域ごとの特徴を持つ。すなわち、深圳市の朝鮮族コミュニティは、経済的資源の創出に熱心であるのに対し、燕郊鎮では中国政府との連携が強く、青島市では、外国との強い連携で社会的資源の創出が活発に行われている。

#### 【目的と章構成】

民族の移動とエスニック・コミュニティの変化に関して、様々なエスニック集団に関する研

究がなされてきた。コリアンについても、コリアン・ディアスポラ研究として、朝鮮半島から全世界に向けて、移動とエスニック・コミュニティについての研究が進められている。そうした観点から、中国朝鮮族についても国内移動、国際移動ともに先行研究がある。だが、中国朝鮮族の国内移動とエスニック・コミュニティの変化に関する研究は、一地域を対象とするものに限定されており、普遍化や類型化がなされていないという課題が存在する。したがって、本稿においては、非伝統的居住地域における朝鮮族コミュニティの形成・維持の要因を、コミュニティの内的メカニズムに力点を置きながら、中国及び国際社会における社会的要素と経済的要素の相互作用という観点から明らかにすることを目的にしている。

本稿は序章と終章を除くと、五つの章からなっている。第一章では、中国朝鮮族の中国における政策的な位置づけを紹介している。第二章では、朝鮮族の伝統的居住地域のコミュニティの維持プロセスを提示し、次に出てくる非伝統的居住地域の朝鮮族コミュニティの説明に対する比較の章にしておいた。第三章から第五章までは、それぞれ深圳市、青島市、燕郊鎮を事例として非伝統的居住地域の朝鮮族コミュニティの形成の原因とプロセスと実態を叙述した。そして本稿を締めくくる終章では、伝統的居住地域と非伝統的居住地域、さらには非伝統的居住地域に属する三地域の比較を行うことによって、伝統的居住地域と非伝統的居住地域における朝鮮族コミュニティの形成原因の共通性と相違点、非伝統的居住地域における朝鮮族コミュニティの形成原因の共通性と相違点を明らかにするなど、本稿の議論をまとめている。

## 【各章要約】

第一章では、まず、中国における民族政策とエスニック・コミュニティとの関係について考察した。次に、伝統的居住地域と非伝統的居住地域における朝鮮族の社会状況を比較した。第三に、本稿の中心内容になる非伝統的居住地域における朝鮮族コミュニティの分析に入るための基礎として、深圳市、青島市、燕郊鎮それぞれにおける朝鮮族の社会状況を比較分析した。

第二章では、ハルビン市朝鮮族コミュニティを例に、伝統的居住地域の朝鮮族コミュニティの特徴を描いた。その結果、ハルビン市朝鮮族コミュニティの維持・衰退原因が明らかになった。一つは、社会的紐帯と経済的紐帯との間の相互転換がさほど協力ではないことで、もう一つは、ナショナルな側面の影響が経済面においても社会面においても強力であることである。

第三章では、深圳市朝鮮族コミュニティの形成・維持の原因とメカニズムを解明するために、広東省朝鮮民族联合会という社会的団体と、OKTA 深圳支部という経済的団体の活動を本稿の分析枠組に照らしながら分析した。その結果、以下のことが明らかになった。すなわち、深圳市朝鮮族コミュニティの形成・維持メカニズムは、国内外社会的・経済的資源の相互依存モデルで説明可能であり、その特徴は、ローカル及びグローバルな側面における経済的要素の役割が強いことである。

第四章では、青島市朝鮮族コミュニティの形成・維持の原因とメカニズムを解明するために、

青島市正陽学校、西園庄朝鮮族小学校という社会的団体と、青島市朝鮮族企業協会、OKTA 青島支部という経済的団体の活動を分析した。その結果、以下の二点が明らかになった。青島市朝鮮族コミュニティも深圳市同様、国内外社会的・経済的資源の相互依存モデルで解釈可能である。次に、青島市朝鮮族コミュニティの形成・維持においては、ローカルな側面の社会的要素、ナショナルな側面の経済的要素、グローバルな側面の社会的要素の三つの要素が組み合わせられ、役割を果たしていることが特徴的である。

第五章では、燕郊鎮朝鮮族コミュニティの形成・維持の原因とメカニズムを解明するために、京東朝鮮族経済文化発展聯合總會、三河光大学校という社会的団体と、三河京東企業家聯合会、OKTA 三河支部という経済的団体の活動を、本稿の分析枠組に沿って分析した。その結果、以下のことが明らかになった。燕郊鎮朝鮮族コミュニティは、コミュニティ内部の資源交換をベースに持ちつつ、中国政府からの社会的・経済的資源の流入が大きく燕郊鎮朝鮮族コミュニティの形成・維持に影響を与えている。また、韓国はじめ外国からの社会的・経済的資源流入による影響もあるが、比較的顕著ではない。

終章では、本稿の結論と意義を示した。本稿の結論は、さらに、非伝統的居住地域における朝鮮族コミュニティの形成・維持原因の共通モデル、非伝統的居住地域における朝鮮族コミュニティの形成・維持原因の地域ごとの特徴、伝統的居住地域と非伝統的居住地域における朝鮮族コミュニティの形成・維持原因の差異に分けてまとめた。

## 【まとめ（結果、考察）】

以上のような論証の下で、以下のことが明らかになった。第一に、非伝統的居住地域における朝鮮族コミュニティは内部の社会的・経済的資源相互依存メカニズムに、中国政府の政策的な要因および外国からの社会面・経済的な影響が加わった国内外社会的・経済的資源の相互依存メカニズムが創出されることで形成・維持されている。第二に、非伝統的居住地域における朝鮮族コミュニティには上記の共通性も存在するが、地域ごとの特徴も持っている。すなわち、深圳市朝鮮族コミュニティではローカルとグローバルな経済的要素が、青島朝鮮族コミュニティではローカルとグローバルな社会的要素とナショナルな経済的要素が、燕郊鎮朝鮮族コミュニティではナショナルな社会的要素が重要な役割を果たしている。第三に、伝統的居住地域と非伝統的居住地域の朝鮮族コミュニティの間に差異が存在し、その差異は大きく三点ある。①非伝統的居住地域の社会的要素と経済的要素の相互転換・依存度がより強い。②伝統的居住地域のナショナルな政策的要素の役割がより強い。③非伝統的居住地域のグローバルな要素の役割がより強い。

なお、本稿の独創性と意義は以下の通りである。まずは独創性である。本稿は、複数地における朝鮮族コミュニティの調査を踏まえたマルチサイティッド・エスノグラフィーである。コミュニティ研究では、従来、一つの地点における調査に基づく研究が主流であったが、近年で

は、条件の異なる複数の地点における現地調査を踏まえて、その共通点と相違点、場所を越えて結びつくネットワークなどを議論する研究も登場してきた。本稿は、複数地の調査に基づく研究であり、各都市・地域の朝鮮族（ローカル）、中国（ナショナル）、韓国及びその他世界（グローバル）という複数の文脈において、朝鮮族にかかわる社会的団体と経済的団体が、どのように朝鮮族の人々を結び付け、いかなるコミュニティを形成するかを解明した。したがって、このような複数拠点三層構造は本稿の方法上のオリジナリティであるといえる。

次に、本稿の持つ意義である。第一に、非伝統的居住地域における朝鮮族コミュニティに関する先行研究は、もっぱら経済的団体の役割に焦点が当てられてきたが、本稿では、社会的団体の朝鮮族コミュニティにおける重要性を示すことができた。第二に、複数地域の中国朝鮮族コミュニティを比較研究することにより、中国における朝鮮族コミュニティの全体像により接近することができた。第三に、中国の非伝統的居住地域における朝鮮族コミュニティに関して、共通のモデルがなかったところを、本稿で「国内外社会的・経済的資源の相互依存モデル」を提起し、かつ、非伝統的居住地域における地域ごとの特徴を示すことができた。

#### 【主な引用文献、参考文献】

<日本語文献（50音順）>

- 岩間一雄（1987）『ナショナリズムとは何か』西日本法規出版  
ウェーバー、マックス（1968）『理解社会学のカテゴリー』（林道義訳）岩波文庫  
—————（1972）『社会学の根本概念』（清水幾太郎訳）岩波文庫  
王珂（2006）『20世紀中国の国家建設と「民族」』東京大学出版会  
岡本雅享（2008）『中国の少数民族教育と言語政策』社会評論社  
加々美光行（2008）『中国の民族問題——危機の本質』岩波書店  
梶田孝道（1988）『エスニシティと社会変動』有信堂  
韓光天（2006）「中国朝鮮族の都市移動の実態に関する報告」中国朝鮮族研究会叢書『朝鮮族のグローバルな移動と国際ネットワーク』アジア経済文化研究所、159-166 ページ  
ギアーツ、クリフォード著、吉田禎吾、柳川啓一、仲牧弘充、板橋作見訳（1987）『文化の解釈学Ⅱ』岩波書店  
木村自（2013）「『民族』を使いこなす——『脱政治化』論と『民族』の政治論的転換」大阪大学中国文化フォーラム編『現代中国に関する13の問い——中国地域研究講義』1巻、127-147 ページ  
権香淑（2011）『移動する朝鮮族——エスニック・マイノリティの自己統治』彩流社  
小林正典（2000）「中国の民族区域自治法律制度及び散居少数民族權益保障法律制度の概要と諸問題」『一橋研究』25巻1号、111-136 ページ

- 佐々木衛 (2007) 「都市移住者の社会ネットワーク——青島市中国朝鮮族の事例から」佐々木衛編『越境する移動とコミュニティの再構築』東方書店、3-18 ページ
- 佐藤成基 (1995) 「ネーション・ナショナリズム・エスニシティ：歴史社会学的考察」『思想』8月号、岩波書店、103-104 ページ
- 塩原勉・松原治郎・大橋幸代表編集 (1969) 『社会学の基礎知識——基礎概念の理解のために』有斐閣ブックス
- 聶莉莉 (2005) 「中国朝鮮族の民族的ネットワークと連帯感」『アジア遊学』勉誠出版、24-37 ページ
- 関根政美 (1994) 『エスニシティの政治社会学——民族紛争の制度化のために』名古屋大学出版会
- 田辺繁治 (2008) 「コミュニティを想像する——人類学的省察」『文化人類学』73巻3号、289-308 ページ
- 趙貴花 (2016) 『移動する人びとの教育と言語——中国朝鮮族に関するエスノグラフィー』三元社
- 土田映子 (2007) 「『エスニシティ』概観：コンセプトの形成と理論的枠組」『グローバルイノベーションと多文化共生、国際広報メディア研究科・言語文化部研究報告叢書』68巻、1-20 ページ
- 南玉瓊 (2014) 「中国朝鮮族児童の漢族学校通学問題について——黒龍江省の朝鮮族を中心に」『立命館国際関係論集』14号、33-59 ページ
- (2016) 「朝鮮族の深圳市への移動とエスニック・コミュニティの形成」『立命館国際研究』29(1)、131-154 ページ
- (2017) 「青島市における朝鮮族コミュニティの形成と発展」『立命館国際研究』29(3)、171-194 ページ
- (2017) 「朝鮮族の中国国内移動とエスニック・コミュニティの構築——北京市周辺地域・燕郊鎮の事例」『朝鮮族研究学会誌』7号、17-46 ページ
- 仁科健一、舘野哲編 (1996) 『新韓国読本—5 異邦の韓国人 韓国の異邦人』社会評論社
- 日本国際問題研究所中国部会編 (1972) 『中国共産党史資料集 第5巻』勁草書房
- 野沢慎司編・監訳 (2016) 『リーディングス ネットワーク論——家族・コミュニティ・社会関係資本』勁草書房
- パットナム, ロバート・D. (2001) 『哲学する民主主義——伝統と改革の市民的構造』NTT出版
- 方明豪 (2009) 「地域移動の中で見られる中国朝鮮族のアイデンティティ——北京市の朝鮮族学生を対象にしたインタビューからの知見」『大学院研究年報』32号、39-55 ページ
- マッキヴァー, R.M. 著、中久郎・松本通晴監訳 (1975) 『コミュニティ』ミネルヴァ書房

- 松田素二 (2004) 「変異する共同体—創発的連帯論を超えて—」『文化人類学』69 卷 2 号、247-268 ページ
- 南川文里 (2016) 『アメリカ多文化社会論：「多からなる一」の系譜と現在』法律文化社
- 南野泰義 (2017) 『北アイルランド政治論——政治的暴力とナショナリズム』有信堂
- 箕浦康子編著 (2009) 『フィールドワークの技法と実際Ⅱ—分析・解釈編』ミネルヴァ書房
- 宮島美花 (2017) 『中国朝鮮族のトランスナショナルな移動と生活』国際書院
- 毛里和子 (1998) 『周縁からの中国——民族問題と国家』東京大学出版会
- 守本順一郎 (1967) 『東洋政治思想史研究』未来社
- 山下晋司 (2005) 「人類学をシステムアップする——現代世界との関わりの中で」山下晋司・福島真人編『現代人類学のプラクシス：科学技術時代をみる視座』有斐閣アルマ、1-11 ページ
- 李勁松 (2002) 「中国における朝鮮族の都市への移住と適応——北京市朝鮮族を中心に」『福岡発・アジア太平洋研究報告』11 号、47-58 ページ
- (2003) 「北京市における中国朝鮮族の移住と定住化の問題——新たなネットワーク形成の視点から」『比較社会文化研究』14 号、191-202 ページ
- 李在永 (2005) 「中国・沿海都市部朝鮮族の移住と民族教育に関する研究——青島市朝鮮族小学校を中心に」『九州教育学会研究紀要』33 卷、165-171 ページ
- 李明月 (2009) 「都市へ移動した朝鮮族の現状——北京市に居住する朝鮮族の実態調査から」『ククロス：国際コミュニケーション論集』6 号、75-89 ページ。

< 中国語文献 (ピンイン順) >

- 北京市第六次全国人口普查领导小组办公室, 北京市统计局, 国家统计局北京市调查总队编 (2012) 北京市 2010 年人口普查资料 中册[Z]. 中国统计出版社 (北京市第六次全国人口普查领导小组办公室、北京市统计局、国家统计局北京市调查总队编 (2012) 『北京市 2010 年人口センサス資料 中冊』中国統計出版社)
- 北京市统计局, 国家统计局北京市调查总队编 (2016) 北京市统计年鉴 2016[Z]. 中国统计出版社 (北京市统计局、国家统计局北京市调查总队编 (2016) 『北京市統計年鑑 2016』中国統計出版社)
- 国家统计局人口和社会科技统计司, 国家民族事务委员会经济发展司编 (2003) 2000 年人口普查 上册 中国民族人口资料[Z]. 民族出版社 (国家统计局人口和社会科技统计司、国家民族事務委員会經濟發展司編 (2003) 『2000 年人口センサス 上册 中国民族人口資料』民族出版社)
- 国务院人口普查办公室, 国家统计局人口统计司编 (1985) 中国 1982 年人口普查资料(电子

- 计算机汇总)三, 民族[Z]. 中国统计出版社(国务院人口普查办公室、国家统计局人口统计司编(1985)『中国1982年人口センサス資料(電子計算機匯総)三、民族』中国統計出版社)
- (1993) 中国1990年人口普查資料[Z]. 中国统计出版社(———— (1993)『中国1990年人口センサス資料』中国統計出版社)
- (2002) 中国2000年全国人口普查資料[Z]. 中国统计出版社〔閲覧于<http://www.stats.gov.cn/tjsj/pcsj/rkpc/5rp/index1.htm>〕(最終検索日:2015年7月11日)(———— (2002)『中国2000年全国人口センサス資料』中国統計出版社〔<http://www.stats.gov.cn/tjsj/pcsj/rkpc/5rp/index1.htm> から閲覧〕(最終検索日:2015年7月11日))
- (2012) 中国2010年全国人口普查資料[Z]. 中国统计出版社〔閲覧于<http://www.stats.gov.cn/tjsj/pcsj/rkpc/6rp/indexch.htm>〕(最終検索日:2015年7月11日)(———— (2012)『中国2010年全国人口センサス資料』中国統計出版社〔<http://www.stats.gov.cn/tjsj/pcsj/rkpc/6rp/indexch.htm> から閲覧〕(最終検索日:2015年7月11日))
- 郝时远, 王延中, 王希恩主编(2015)中国民族发展报告2015[M]. 社会科学文献出版社(郝時遠、王延中、王希恩主編(2015)『中国の民族発展に関する報告2015』社会科学文献出版社)
- 河北省人口普查办公室编(2012)河北省2010年人口普查資料[Z]. 中国统计出版社(河北省人口普查办公室編(2012)『河北省2010年人口センサス資料』中国統計出版社)
- 黑龙江省1%人口抽样调查办公室, 黑龙江省统计局人口和社会科技处(2007)黑龙江省1%人口抽样调查資料[Z]. 中国统计出版社(黒竜江省1%人口抽樣調査办公室、黒竜江省統計局人口和社会科技処(2007)『黒竜江省1%人口サンプル調査資料』中国統計出版社)
- 黑龙江省统计局, 黑龙江省人口普查办公室编(2012)黑龙江省2010年人口普查資料[Z]. 中国统计出版社(黒龍江省統計局、黒竜江省人口普查办公室編(2012)『黒竜江省2010年人口センサス資料』中国統計出版社)
- 朴光星(2012)少数民族流入人口の权益诉求与城市民族工作--基于对青岛市朝鲜族流入群体的实地调查[J]. 黑龙江民族丛刊, 2:59-66. (朴光星(2012)「少数民族流入人口の權益訴求と都市民族工作——青島市に流入した群朝鮮族への現地調査に基づいて」『黒竜江民族叢刊』2期、59-66ページ)
- (2014) “压缩型城市化”下的民族共同体“离散危机”与“重构运动”--基于对朝鲜族城市化进程的考察[J]. 中央民族大学学报, 41(3):88-97. (朴光星(2014)「“壓縮型都市化”の下における民族共同体の“離散危機”と“再構築運動”——朝鮮族の城市化過程への考察に基づいて」『中央民族大学学報』41卷、3期、88-97ページ)
- 山东省统计局, 山东省人口普查办公室编(2012)山东省2010年人口普查資料 上册[Z]. 中国统

- 计出版社（山東省統計局、山東省人口普查弁公室編（2012）『山東省 2010 年人口センサス資料 上冊』中国統計出版社）
- 深圳市宝安区统计局, 宝安区第六次全国人口普查领导小组办公室(2012)深圳市宝安区人口普查资料[Z]. 中国统计出版社（深圳市宝安区統計局、宝安区第六次全国人口普查領導弁公室（2012）『深圳市宝安区人口センサス資料』中国統計出版社）
- 深圳市统计局, 深圳市人口普查办公室編(2012)深圳市 2010 年人口普查资料[Z]. 中国统计出版社（深圳市統計局、深圳市人口普查弁公室編（2012）『深圳市 2010 年人口センサス資料』中国統計出版社）
- 相华（2012）朝鲜族流动人口城市融入研究--以烟台、威海、青岛为例[J]. 黑龙江民族丛刊（双月刊），4:59-65.（相華（2012）「朝鮮族流動人口に関する都市融合研究——煙台、威海、青島を事例に」『黒竜江民族叢刊（双月刊）』4 期、59-65 ページ）
- 张继焦（2004）试论城市少数民族的社会交往与族际交流--以深圳市为例[J]. 广西民族研究, 2:37-42.（張繼焦（2004）「都市少数民族の社会活動と民族間交流についての試論——深圳市を事例に」『広西民族研究』2 期、37-42 ページ）
- 张展新, 杨思思（2013）流动人口研究中的概念、数据及议题综述[J]. 中国人口科学, 33(6):102-128.（張展新、楊思思（2013）「流動人口研究における概念、データ及び議題の総述」『中国人口科学』33 卷 6 期、102-128 ページ）
- 郑信哲, 黄娜（2010）少数民族人口流动与城市民族教育问题探讨--以山东省青岛市朝鲜族教育实践为例[J]. 中南民族大学学报, 30(1):30-34.（鄭信哲、黃娜（2010）「少数民族人口の流動と都市民族教育問題についての研究——山東省青島市の朝鮮族教育実践を事例に」『中南民族大学学報』30 卷 1 期、30-34 ページ）
- 朱小丹主編(2015)2015 广东年鉴[Z]. 广东年鉴社（朱小丹主編（2015）『2015 廣東年鑑』廣東年鑑社）

< 韓国語・朝鮮語文献（ㄱㄴㅇ順） >

- 구지영（2013）「지구화시대 조선족의 이동과 정주에 관한 소고--중국 청도를 중심으로」영남대학교 인문과학연구소『인문연구』68 호, pp.297-330（具知瑛（2013）「地球化時代朝鮮族の移動と定住に関する小考——中国青島を中心に」嶺南大学人文科学研究『人文研究』68 号、297-330 ページ）
- 권태환, 박광성（2004）「중국 조선족 대이동과 공동체의 변화-현지조사 자료를 중심으로」『한국인구학』27 권, 2 호, pp.61-89（權泰煥、朴光星（2004）「中国朝鮮族の大移動と共同体の变化——現地調査資料を中心に」『韓国人口学』27 卷、2 号、61-89 ページ）
- 예동근（2010）「종족성의 자원화와 도시 에스닉 커뮤니티의 재구성 - 북경 왕징(望京)」



코리아타운 조선족결사체를 중심으로-」『동북아문화연구』25 집, pp.531~547 (이  
에·돈겐 (2010) 「에스니시티의 자원화와 도시에스닉·커뮤니티의 재  
구성——北京市望京코리아타운의朝鮮族社会的团体を中心に」『東北亜文化研究』  
25 集、531-547 페이지)

예동근,윤인진(2008) 「글로벌시대 중국의 체제전환과 도시종족공동체 재형성:북경 왕징  
코리아타운의 조선족공동체를 중심으로」『한국사회학회 사회학대회 논문집』 한국  
사회학회, pp.709-740 (이에·돈겐, 윤·인진(2008) 「글로벌시대  
中国の体制轉換と都市에스닉·커뮤니티의再形成:北京市望京코리아타운  
의朝鮮族커뮤니티を中心に」『韓國社会学会社会学大会論文集』韓國社会学会、  
709-740 페이지)

<英語文献 (알파벳순) >

Geertz, Clifford(1973), *The Interpretation of Cultures: Selected Essays*, New York: Basic Books.

Hutchinson, John and Anthony D. Smith eds.(1996), *Ethnicity*. Oxford University Press.

Marcus, George E.(1995), "Ethnography in/out the world system: The emergence of multisited  
ethnography", *Annual Review of Anthropology*, Volume 24, pp.95-117.

Schermerhorn, Richard E.(1970), *Comparative Ethnic Relations: A Framework for Theory and  
Research*, New York: Random House.

Shils, Edward(1957), "Primordial, Personal, Sacred and Civil Ties: Some Particular Observations on  
the Relationships of Sociological Research and Theory", *British Journal of Sociology*, Volume  
8, No.2, pp.130-145.

Smith, Anthony D.(1995), "Gastronomy or Geology?: the Role of Nationalism in the Reconstruction  
of Nations", *Nation and Nationalism*, Volume 1, Part 1.

Breton,Raymond (1964), "Institutional Completeness of Ethnic Communities and the Personal  
Relations of Immigrants", *American Journal of Sociology*, Volume 70, No. 2, pp. 193-205.